

平成26年度 県土整備部環境配慮事例報告書

事業主管課	河川局河川整備課
実施機関	東部県土整備局(徳島)

【事業の概要】

事業の種類	河川・ダム等の整備	河川事業
事業箇所名	徳島市	
事業の規模・状況	1.4 km	小規模事業a 設計段階

【事業の目的及び概要】

当該事業は、発生が確実視されている南海・東南海地震による津波災害から堤内側の人命及び財産を守るために、現況堤防の耐震補強設計を行うものである。

【検討した環境要素の一覧及びRDBの有無、モニタリングの要否】

大気	環境	水環境	地形・地質等	生物多様性	景観	自然とのふれあい	文化財	廃棄物	温室効果ガス等	RDB種の有無	モニタリングの要否
				○						○	○

【特に配慮した環境要素と検討事項】

堤防耐震工事の設計において、生物調査(魚類、底生動物、植物、鳥類、陸上昆虫類等)の結果をもとに当該地区に生息・生育している重要種に対する保全措置の検討を行った。なお、重要種の保全措置については、環境アドバイザーの助言をもとに検討を行った。

・フジバカマ(徳島県版レッドリスト:絶滅危惧ⅠB類, 環境省レッドリスト:準絶滅危惧種)が設計区間の堤内側法面に生育していたため、工事範囲外で、かつ既存の生育環境と類似する地点に移植する。

・フサスゲ(徳島県版レッドリスト:絶滅危惧Ⅱ類)が設計区間の堤外側法面及び小段に生育していたため、工事範囲外で、かつ既存の生育環境と類似する地点に移植する。ただし、計画地周辺におけるフサスゲの生育状況について調査を行ったうえで、移植先、移植方法等の検討を行う。

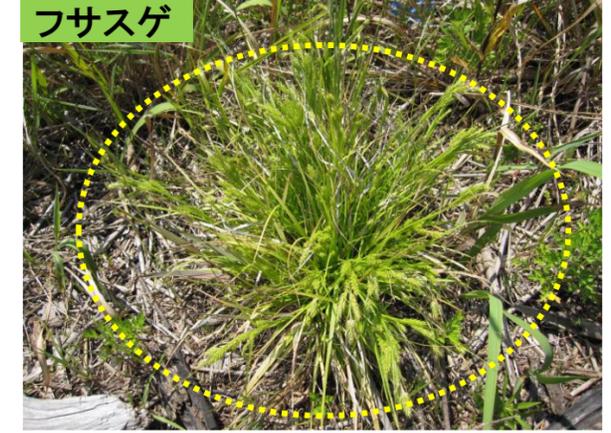
【目標に対する達成状況】

現在、設計段階であるため、施工中及び施工後において状況把握に努める。

【検討事項に対する評価】

実施者 環境保全措置を考慮したうえで設計を行ったが、今後工事担当者が環境配慮について十分理解して工事を進めていくことと、施工した箇所のモニタリング調査を行っていく必要がある。

保全対象種

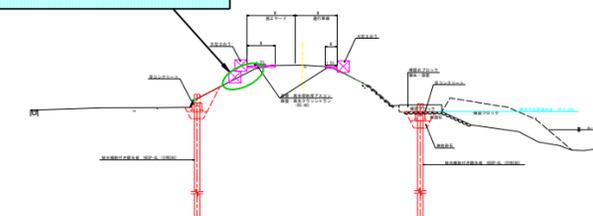


図面等

断面図(イメージ図)

【フジバカマ】

工事範囲外で、かつ既存の生育環境と類似する地点に移植する。



断面図(イメージ図)

【フサスゲ】

工事範囲外で、かつ既存の生育環境と類似する地点に移植する。ただし、計画地周辺におけるフサスゲの生育状況について調査を行ったうえで移植先、移植方法等の検討を行う。

